

京都滋賀体育学会だより No.36

<http://www.kyoto-taiiku.com>

平成 24 年 4 月 1 日

京都体育学会は **京都滋賀体育学会** に生まれ変わりました。

Kyoto and Shiga Society of Physical Education, Health and Sport Sciences

I 平成 24 年度事業報告

(1) 第 142 回京都滋賀体育学会 60 周年記念大会

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）9：00～

場所：京都工芸繊維大学（ノートルダム館 K201, 202, 203）

参加者：120 名（会員 39 名，臨時会員 41 名，一般参加者 40 名）

研究発表：25 題（若手研究奨励賞選定対象発表 23 題，研究助成報告 1 題，一般研究発表 1 題）

◆若手研究奨励賞選定対象発表 23 題

1. 短期間のマーク走トレーニングが小学生児童の疾走能力に与える影響
○斎藤壮馬・志賀充（びわこ成蹊スポーツ大学）
2. スポーツ大学における短距離チームの継続的なコントロールテストの分析について—ジャンプ能力とパフォーマンスに着目して—
○田中秀忠・志賀充（びわこ成蹊スポーツ大学）
3. 再現性の高い運動負荷試験についての検討
○奥野鮎太郎・山本満・石原達朗・田中歌・海老根直之（同志社大学）
4. 静止立位時における，足関節周りの粘弾性と姿勢動揺との関連
○徳川貴大・神崎素樹（京都大学）
5. ハイ・クリーンとスクワットの個人差がパフォーマンスに与える影響—下肢のキネティクスに着目して—
○田中康雄・小山宏之・磯崎大二郎・大月菜穂子・小宗真・柴田篤志・野上大介・水口善文・山田朋花（京都教育大学）
6. 筋シナジーに基づく多方向への姿勢制御の解明
○川端あずさ・神崎素樹（京都大学）
7. ストレッチポールエクササイズによる姿勢と身体機能の変化
○佐々木勇治・佃文子・村田祐樹（びわこ成蹊スポーツ大学）
8. 傾斜板が走り高跳びの踏切動作に与える即時的効果
○磯崎大二郎・小山宏之・田中康雄・大月菜穂子・小宗真・柴田篤志・水口善文・山田朋花（京都教育大学）
9. 視聴覚情報が姿勢動揺に及ぼす影響
○岡野真裕・神崎素樹（京都大学）

10. 半構造化面接法を用いた歩行の動作観察についての比較検討～膝関節疾患における検討～
○大桐将 (山田整形外科病院)・山田勝真 (蘇生会総合病院)・弓永久哲 (関西医療学園専門学校)・
来田宣幸 (京都工芸繊維大学)
11. 静止立位に自律神経系が与える影響について
○横井郁・神崎素樹 (京都大学)
12. 中高齢女性を対象とした6週間低負荷パワートレーニングが転倒骨折リスクに及ぼす影響
○浜口佳奈子・戸田遥子・佐藤幸治・栗原俊之・藤岡正子・大塚光雄・家光素行・浜岡隆文・真
田樹義 (立命館大学)
13. 月経周期とコンディション変動
○森山侑希・佃文子 (びわこ成蹊スポーツ大学)
14. スポーツ系大学生の脳震盪発生状況
○近藤由依・村田祐樹・佃文子・金森雅夫 (びわこ成蹊スポーツ大学)
15. 人の身体動作に見られる阻害現象と痛みの自覚症状の特徴との関係についての考察
○杉本歩・肥田嘉文・増田清敬・寄本明・南和広 (滋賀県立大学)
16. 等尺性収縮時の大腿直筋およびその中央腱膜の三次元構築およびその動的变化
○方城素和・神崎素樹 (京都大学)
17. 食行動の総合的代謝評価
○石原達朗・山本満・田中歌・海老根直之 (同志社大学)
18. 女性スポーツ選手のトレーニング期における温熱負荷時の体温調節反応
○佐藤琢磨 (京都工芸繊維大学)・久米雅 (京都文教短期大学)・常岡秀行・芳田哲也 (京都工芸
繊維大学)
19. 野球のゴロ捕球における空間制御球ー捕球体勢とフットワークからー
○長谷川弘実・神谷将志・来田宣幸・野村照夫 (京都工芸繊維大学)
20. 野球打撃におけるバスター動作指導法の研究
○西純平・岡本直輝 (立命館大学)
21. フィールドホッケーにおけるスクープの動作分析
○山堀貴彦 (聖泉大学)
22. テニスにおける新サービストレーニング方法が即時的にコントロール能力へ与える影響ーフラッ
トサービスに着目してー
○飯塚賢太郎・志賀充 (びわこ成蹊スポーツ大学)
23. 重りを利用した鉄棒振り上げ運動の即時的な動作影響について
○小早川理・志賀充 (びわこ成蹊スポーツ大学)

◆研究助成報告 1 題

24. 中学及び高校水泳部活動における傷害実態とフィジカルケアサポート【研究基金学術研究報告】
○三瀬貴生 (医療法人南谷クリニック)・宇野慎也 (京都文教高校)・野村照夫 (京都工芸繊維大学)

◆一般研究発表 1 題

25. 女性における水平方向への跳躍能力の特性ー跳躍運動の脚動作と疾走速度の関係からー
○志賀充 (びわこ成蹊スポーツ大学)

(2) 第 142 回京都滋賀体育学会総会

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）11：00～

場所：京都工芸繊維大学（ノートルダム館 K201）

1) 審議事項

- ①平成 24 年度実施事業報告（中理事長）
- ②平成 24 年度決算報告（来田会計理事）
- ③平成 24 年度会計監査報告（長積監事）
- ④京都滋賀体育学会会則の一部改正案（趣旨説明・岡本会長→芳田副会長）
- ⑤平成 25 年度事業計画案（中理事長→60 周年記念事業説明・芳田副会長）
- ⑥平成 25 年度予算案（来田会計理事）、

以上の 6 項目について審議され、全て承認された。

①②③および⑤⑥については、本稿および別紙を参照。その他の承認事項については以下の通り。

④京都滋賀体育学会会則の一部改正

京都滋賀体育学会における会長と理事長の識別など役員の役割を明確にすること、会の所在地を明確にすること、臨時会員が納入する年会費が実質上学会大会参加費として扱われる実態があること等を踏まえ、平成 25 年 4 月 1 日付けで、以下のように会則を変更する。

昭和 27 年 7 月 5 日制定施行
平成 24 年 4 月 1 日一部改正
平成 25 年 4 月 1 日一部改正

新	旧
1～7. 省 略 8. この会の運営は次の機関による。 (1)総会 (2)理事会 9. 本会には次の役員を置く。 会長 1 名、副会長 2 名、 <u>常務理事</u> 1 名を含む 10 名以上の理事、および監事 2 名 10～11. 省 略 12. 総会、理事会の議事は出席者の過半数をもって決する。 13～14. 削 除 (以下、番号を繰り上げ) 13. 理事会は会長、副会長、理事を以て構成し、 <u>常務理事</u> は議長となる。理 事会は <u>会長</u> がこれを招集する。 14. 会長は、会を代表し会務を総括する。副会長は、会長に事故ある時はその 任務を代行し、会を運営する。 <u>常務理事</u> は、会および理事会を運営する。 理事は、会務を遂行する。監事は、理事の職務の執行を監査し、理事に対 して事業の報告を求め会務の状況を調査することができる。 15. 理事会は、会計理事、庶務理事、渉外理事等を選出し、各理事の役割を明 確にする。 16～23. 省 略 24. この会の所在地および事務局は原則として <u>常務理事</u> の所属する学校に置く。 25. 省 略 26. この会則は、平成 25 年 4 月 1 日から実施する。 記 臨時会員費 1,000 円	1～7. 省 略 8. この会の運営は次の機関による (1)総会 <u>(2)役員会</u> (3)理事会 9. 本会には次の役員を置く。 会長 1 名、副会長 2 名、 <u>理事長</u> 1 名、 <u>理事若干名</u> 、監事 2 名 10～11. 省 略 12. 総会、 <u>役員会</u> 、理事会の議事は出席者の過半数をもって決する。 13. 理事会は会長、副会長、理事を以て構成し、 <u>理事長は理事会を代表し</u> 議 長となる。理事会は <u>理事長</u> がこれを招集する。 (新 設) 16. 理事会は、 <u>理事長</u> 、 <u>会計理事</u> 、庶務理事、渉外理事等を選出し、各理事の 役割を明確にする。 17～24. 省 略 25. この会の事務局は原則として <u>理事長</u> の所属する学校に置く。 26. 省 略 27. この会則は、平成 24 年 4 月 1 日から実施する。 記 臨時会員年額 1,000 円

2) 報告事項

①会員動向（小松崎庶務理事）

平成 25 年 3 月 1 日現在の会員数 323 名（京都滋賀体育学会のみ会員 24 名，19 名増）

②学会誌編集状況報告（寄本編集委員長）

③その他

i) 日本体育学会第 64 回大会の近畿地区京都滋賀地域担当

日程：平成 25（2013）年 8 月 28 日（水），29 日（木），30 日（金）

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）

テーマ：『未来に生きる 体育・スポーツ・健康』

大会長：田畑泉（立命館大学健康スポーツ科学部長）

主管：学校法人立命館 立命館大学

ii) 京都滋賀体育学会学会賞選考規程の一部改正

京都滋賀体育学会賞の表彰は総会で行うことを原則としつつ，柔軟な対応ができるよう，平成 25 年 3 月 8 日付けで以下のように規程を変更する。

平成 17 年 3 月 5 日制定施行

平成 25 年 3 月 8 日一部改正

新	旧
京都滋賀体育学会賞を若手研究奨励賞、論文賞の二部門について定め、以下の選考方法にて決定する。表彰は原則として定例の京都滋賀体育学会総会にて行う。 1～2. 省 略	京都滋賀体育学会賞を若手研究奨励賞、論文賞の二部門について定め、以下の選考方法にて決定する。表彰は定例の京都滋賀体育学会総会にて行う。 1～2. 省 略

iii) 京都滋賀体育学会研究基金学術研究助成の内定

○高安和典（京都教育大学附属高等学校）・小松崎敏（京都教育大学）・早川一行（京都教育大学附属高等学校）『高等学校における ICT を活用した体育授業にはどのような事例が考えられるか』

○黒澤寛己（京都市立塔南高等学校）・横山勝彦（同志社大学）・有山篤利（聖泉大学）『中学校保健体育科「武道（柔道）」の安全な指導方法の開発及び普及について』

iv) 学会賞（論文賞，若手研究奨励賞）の発表と表彰（平成 24 年度については若手研究奨励賞を 60 周年記念パーティにて発表・表彰した）

・論文賞：該当論文なし

・若手研究奨励賞（最優秀賞）：

○川端あずさ（京都大学）『筋シナジーに基づく多方向への姿勢制御の解明』

・若手研究奨励賞（優秀賞）：

○横井郁（京都大学）『静止立位に自律神経系が与える影響について』

○西純平（立命館大学）『野球打撃におけるバスター動作指導法の研究』

(3) 京都滋賀体育学会 60 周年記念シンポジウム

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）12：30 ～ 14：30

場所：京都工芸繊維大学（60 周年記念館）

【3 月 10 日は京都マラソン！大会関係者が語るマラソンブームの裏側と未来】

『京都マラソンの動向』松永敬子 殿（龍谷大学経営学部准教授, 京都マラソンマネジメント・リサーチ・チーム）

『近年のマラソン文化の動向＜広告代理店から見た市場動向＞』坂牧政彦 殿（株式会社電通スポーツ局スポーツ 1 部専任部長）

『近年のマラソン・スポーツ用品の動向』岡智恵子 殿（株式会社ワコールウェルネス事業部）

『京都のマラソン，駅伝を支える立場から』佐竹敏之 殿（京都光華女子大学准教授，一般財団法人京都陸上競技協会常務理事）

『京都市の新たなスポーツ文化を考える』下間健之 殿（京都市文化市民局市民スポーツ振興室京都マラソン担当部長，京都マラソン実行委員会事務局長）

(4) 京都滋賀体育学会 60 周年記念講演

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）15：00～16：00

場所：京都工芸繊維大学（60 周年記念館）

『熱中症の根絶をめざして』中井誠一 先生（京都女子大学，前京都体育学会会長）

(5) 京都滋賀体育学会 60 周年記念パーティ

日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）18：00～20：00

場所：京都工芸繊維大学（60 周年記念館）

(6) 研究集会活動

① 野球科学研究会研究発表会

世話人：岡本直輝（立命館大学），来田宣幸（京都工芸繊維大学）

参加者：11 名

日時：平成 24 年 6 月 23 日（土）13：00～16：00

場所：立命館大学エポック立命 21 K307 教室

1. 「ヘッドスライディングは駆け抜けよりも速いのか？」西尾直樹（立命館大学）
2. 「野球の打撃において異なる重さのバットでのウォームアップの違いがスイング速度に及ぼす影響」横山勇大（立命館大学）
3. 「ティー打撃のミート位置と打球速度」神谷将志（京都工芸繊維大学）
4. 「打撃パフォーマンス向上を目的とするバスター動作の研究」西純平（立命館大学）
5. 「野球のゴロ捕球動作」長谷川弘実（京都工芸繊維大学）
6. 「野球の外野手におけるキャッチング動作の研究」山中祥祐己（立命館大学）

② 武道教育研究集会（定例研究会・研究授業の実施）

世話人：有山篤利（聖泉大学），黒澤寛己（京都市立塔南高等学校）

参加者：9 名

日時：平成 24 年 10 月 13 日（土）

場所：同志社大学今出川校地講武館

関西医療大学講師の尾原弘恭氏による「学校管理下における柔道事故の実態について」の発表。

その後、参加者全員で「安全で効果的な柔道授業」について検討会および「中学校体育実技指導資料初めての柔道指導改訂版」の編集会議を開催。

日時：平成 24 年 12 月 27 日（木）

場所：同志社大学今出川校地講武館

京都教育大学附属京都小中学校教諭の中村聡氏による「柔道授業の具体的評価規準について」の発表。その後、参加者全員で「柔道授業の評価と指導の一体化」について検討会および「中学校体育実技指導資料初めての柔道指導改訂版」の編集会議を開催。

③「ヒト」に関係する分野（バイオメカニクス、コーチング、認知、心理等）を専攻する学部生・院生を中心とした研究発表会

世話人：野村照夫（京都工芸繊維大学）、内田和寿（京都ノートルダム女子大学）

参加者：52 名

日時：平成 24 年 12 月 23 日（日）12：00～18：30

場所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館

1. 「陸上競技におけるクラウチングスタートの技術向上を目的とした練習法の提案～中高生の部活動を対象として～」石井一将（愛知教育大学）
2. 「捕手の 2 塁送球動作のバイオメカニクス～捕球コースがリリースとコントロールに与える影響～」鍋本翔太（愛知教育大学）
3. 「フットサルのトーキック動作のバイオメカニクス～熟練者と未熟練者の支持脚に着目して～」柴田額地（愛知教育大学）
4. 「スマッシュ動作にいたるフットワークの 3 次元的動作分析～未熟練者と熟練者の比較より～」杉坂直輝（愛知教育大学）
5. 「100m の個人内変動が疾走時間に及ぼす影響」松浦尚人（愛知教育大学）
6. 「立ち五段跳の総跳躍距離と各跳躍歩の距離・接地時間・滞空時間との関係」梅津友香（大阪教育大学）
7. 「男子 100m バタフライにおける競技力と呼吸の関係」平拓也（大阪教育大学）
8. 「ドライシューティングがフリースローに及ぼす影響について」武市俊輔（大阪教育大学）
9. 「大阪教育大学における運動部活動の継続について」田村絵果（大阪教育大学）
10. 「ハンドボールのゲーム分析ソフトの開発」富田彩（大阪教育大学）
11. 「競泳における 100m の記録から 200m の記録を推定する式の作成～高速水着禁止以降に焦点を当てて～」吉田優輝（大阪教育大学）
12. 「平泳ぎにおける呼吸の有無がストローク変数と Arm-Leg Coordination に与える影響」川辺芙美子（大阪教育大学大学院）
13. 「陸上競技のスプリントトレーニングにおける単独走と競争の比較」豊嶋陵司（大阪教育大学大学院）
14. 「ハイ・クリーンのキネティクスに関するバイオメカニクス的研究 - 類似動作との比較から -」田中康雄（京都教育大学）
15. 「男子走高跳の日本トップ選手とインターハイ選手の比較 - 踏切局面のキネマティクスに着目して -」磯崎大二郎（京都教育大学大学院）
16. 「形式的な場面での第一印象の形成要因」天野竣介（京都工芸繊維大学）
17. 「野球の打撃におけるインパクト位置と打球速度」神谷将志（京都工芸繊維大学）
18. 「視覚および聴覚刺激におけるエッセンシャルオイルの影響」高村早希（京都工芸繊維大学）
19. 「物体の判別に影響を与える要素」土橋侑（京都工芸繊維大学）

- 20.「大学生の食生活に関する関心と実践」 富永委吹（京都工芸繊維大学）
- 21.「調理レベルによる自宅生と下宿生の違い」 日根野正己（京都工芸繊維大学）
- 22.「野球のゴロ捕球における距離的調節」 長谷川弘実（京都工芸繊維大学大学院）
- 23.「ダイレクトスパイク練習がスパイクスキルに与える影響」 梅崎さゆり（京都工芸繊維大学大学院）
- 24.「大学生のための Web 版多因子生活習慣アンケートの開発ーヘルスリテラシー型健康教育における教材開発ー」 小島理永（京都工芸繊維大学大学院）
- 25.「幼児の吹き出しによる心的表象の理解の発達」 安藤実花（京都ノートルダム女子大学大学院）
- 26.「子どもの自然観と宗教観の関係について」 下川遥子（京都ノートルダム女子大学大学院）
- 27.「ヘッドスライディングは駆け抜けよりも速い？」 桑原大輝（立命館大学）
- 28.「野球打撃におけるバスター動作指導法の検討」 西純平（立命館大学大学院）

④体育経営管理研究集会

世話人：中比呂志（京都教育大学）、長積仁（立命館大学）

参加者：62 名

日時：平成 25 年 2 月 10 日（日）10：00～17：00

場所：京都教育大学 1 号館 C 棟 2 階 C6 教室

- 1.「ユニバーサルデザインの視点からみた体育授業モデルの検討」 久保田慧史（京都教育大学）
- 2.「体育授業におけるリスクマネジメントの観点モデルの検討」 中田卓真（京都教育大学）
- 3.「大学を拠点とする地域スポーツクラブの検討ー京都教育大学地域スポーツクラブを対象としてー」 原友梨子（京都教育大学）
- 4.「教育実習前に行われる実地教育の効果と課題ー京都教育大学「公立学校等訪問研究」に着目してー」 藤村久美（京都教育大学）
- 5.「スポーツ観戦における集団内相互作用が観戦者の社会的アイデンティティに及ぼす影響」 岡本麻以（立命館大学スポーツ健康科学研究科）
- 6.「京都市事務事業評価サポーター制度の取り組みについて」 近藤雅大（立命館大学スポーツ健康科学部）
- 7.「スポーツを「みる」行為がスポーツを「する」行為を規定するメカニズムの解明ースポーツ非実施者におけるスポーツ映像の視聴による効果ー」 渡辺史子（立命館大学スポーツ健康科学研究科）
- 8.「京都マラソンにおける地域活性化戦略の実践事例報告」 外山寛貴・橋本紳太郎・長橋順平（龍谷大学）
- 9.「学校体育授業に対する児童・生徒の動機づけを高める授業方略の検討」 上田美結（京都教育大学）
- 10.「教員志望学生の授業における ICT の活用に対する意識とその変容ー ICT を活用した体育授業体験を通してー」 加藤春奈（京都教育大学）
- 11.「学生の教育実習に対する意識ー意義及び効果の視点からー」 楠本恵理（京都教育大学）
- 12.「小・中学校体育におけるゴール型ボール運動の系統的な指導のあり方についての検討ーバスケットボールを対象にしてー」 塩田健太郎（京都教育大学）
- 13.「スポーツを通じた環境保全活動の現状と課題ースポーツ関連組織及び学校教育の二つの視点からー」 戸井田明（京都教育大学）
- 14.「体育授業における持久走・長距離走の系統性を重視した学習内容の検討ー小学校から中学校の 9 年間を見通してー」 中村真悠子（京都教育大学）
- 15.「社会人野球に明日はあるかー観戦者動機をもとにー」 大垣あかね（びわこ成蹊スポーツ大学）

16. 「ランニングシューズに対する要求機能」 清水祐貴（びわこ成蹊スポーツ大学）
17. 「スポーツイベントに求められるニーズとウォンツの探索－キッズベースボールスクールに参加する保護者を対象に－」 飯田沙織（びわこ成蹊スポーツ大学）
18. 「スポーツ選手と商品のイメージ一致－広告活動に出演するスポーツアスリートに着目して－」 西田珠里（びわこ成蹊スポーツ大学）
19. 「サッカー日本代表とスポンサーシップ－消費者の協賛企業への態度形成－」 遠藤佳菜（びわこ成蹊スポーツ大学）
20. 「Jリーグクラブのスポンサーメリット－スポンサー大学のステークホルダーに着目して－」 柿沼秀徳（びわこ成蹊スポーツ大学）
21. 「プロスポーツチームの顧客関係管理－ファンクラブの価値マネジメント－」 高井啓伍（びわこ成蹊スポーツ大学大学院）

(7) 平成 24 年度京都滋賀体育学会理事会

第1回：平成 24 年 4 月 3 日 (金) 18:30 ～ 20:20, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 平成 24 年度事業計画（案） 2. 第 142 回京都滋賀体育学会 60 周年記念大会・総会の担当大学 3. 理事の役割分担 4. 京都滋賀体育学会 60 周年記念事業 5. 講演会・実践研究会 6. 京都滋賀体育学研究第 28 巻編集状況 7. 広報および新規学会員募集戦略 8. 他学会との研究交流

第2回：平成 24 年 5 月 8 日 (火) 18:30 ～ 20:15, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会（60 周年記念大会）・総会の担当校 2. 60 周年記念事業準備委員会の設置及び事業内容の検討 3. 学会会則等の変更 4. 学会誌 28 巻発行 5. 研究集会 6. 基金の活用（学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞・学術研究助成） 7. 広報活動・ポスター

第3回：平成 24 年 7 月 3 日 (火) 18:30 ～ 20:00, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会（60 周年記念大会）・総会の担当校 2. 60 周年記念事業 3. 研究集会 4. 基金の活用（学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞・学術研究助成） 5. 広報活動

第4回：平成 24 年 9 月 18 日 (火) 18:30 ～ 20:00, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会・総会 2. 60 周年記念事業 3. 研究集会 4. 基金の活用（学会賞：奨励賞、若手研究奨励賞・学術研究助成） 5. 日本体育学会第 64 回大会 6. 学会誌 ISSN 番号の再発行

第5回：平成 24 年 11 月 20 日 (火) 18:30 ～ 20:00, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会・総会 2. 60 周年記念事業 3. 研究集会 4. 日本体育学会第 64 回大会 5. 学会の組織改革

第6回：平成 25 年 1 月 29 日 (火) 18:30 ～ 20:15, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会・総会 2. 60 周年記念事業 3. 研究集会・学術研究助成 4. 基金の活用（学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞、研究助成） 5. 日本体育学会第 64 回大会 6. 学会の組織改革

第7回：平成 25 年 2 月 19 日 (火) 18:30 ～ 20:00, 場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 142 回京都滋賀体育学会・総会 2. 60 周年記念事業 2. 研究集会・学術研究集会 4.

基金の活用 5. 日本体育学会第64回大会 6. 広報活動 7. 京都滋賀体育学会の組織改革 8. 学会誌の表示デザイン変更 9. 学会収入増策

第8回(役員会):平成28年3月8日(金)18:00～20:00, 場所:京都工芸繊維大学

議題:1. 平成24年度総会議案および役割分担 2. 平成24年度実施事業報告 3. 平成24年度決算および会計監査報告 4. 平成25年度事業計画案 5. 平成25年度予算案 6. 京都滋賀体育学会会則の一部改正案 7. 京都滋賀体育学会賞選考規程の一部改正案 8. 平成25年度学術研究助成の選考結果 9. 平成24年度学会賞(奨励論文賞)の選考結果 10. 会員の動向 11. その他

(8) 基金活用による学術研究助成事業

1) 第5回京都滋賀体育学会研究助成(上記(2)の2)の③のiii)参照)

(9) 京都体育学研究(第28巻)平成24年7月発行

II 平成24年度決算報告【別紙1】

III 会計監査報告【別紙1】

IV 平成25年度事業計画

- (1) 第143回京都滋賀体育学会大会(京都大学)
- (2) 第143回京都滋賀体育学会総会(学会大会と同時開催)
- (3) 京都滋賀体育学会理事会
- (4) 京都滋賀体育学会講演会および実践研究会
- (5) 京都滋賀体育学研究第29巻1号および2号(60周年記念特集号)発行
- (6) 京都滋賀体育学会学術推進事業
- (7) 京都滋賀体育学会研究集会活動
- (8) 日本体育学会第64回大会@立命館大学BKC補助
- (9) 平成26-27年度京都滋賀体育学会役員選挙

V 平成25年度予算【別紙2】

VI その他

(1) 会員の動向

平成 19 年 3 月 1 日現在	283 名（京都体育学会のみ 19 名）
平成 20 年 3 月 1 日現在	295 名（京都体育学会のみ 21 名）
平成 21 年 3 月 1 日現在	288 名（京都体育学会のみ 19 名）
平成 22 年 3 月 1 日現在	299 名（京都体育学会のみ 22 名）
平成 23 年 3 月 1 日現在	307 名（京都体育学会のみ 24 名）
平成 24 年 3 月 1 日現在	303 名（京都体育学会のみ 24 名）
平成 25 年 3 月 1 日現在	323 名（京都滋賀体育学会のみ 24 名）

事務局・庶務関係連絡先のお知らせ

京都滋賀体育学会事務局

〒 612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 京都教育大学体育学科
中比呂志（京都滋賀体育学会常務理事）

TEL：075-644-8280, E-mail:gori@kyokyo-u.ac.jp

小松崎敏（京都滋賀体育学会庶務担当理事）

TEL：075-644-8285, E-mail:koma@kyokyo-u.ac.jp

京都滋賀体育学会ホームページのお知らせ

<http://www.kyoto-taiiku.com>（きょうと - たいいくドットコム）

info@kyoto-taiiku.com（インフォ @ きょうと - たいいくドットコム）

平成 23 年度事業として計画しておりました京都滋賀体育学会ホームページを開設しました。今後コンテンツ等の充実につとめ、会員のみなさまに対する情報提供の場として活用していきたいと考えております。

投稿規定等が変わりました

2010 年 3 月に開かれた京都体育学会総会にて、京都滋賀体育学研究投稿規定および執筆要領の改訂が承認されました。新しい投稿規定やその他の資料は本巻に掲載されています。また、学会ホームページからもダウンロードできますので、ご参照ください。

事務局からのお願い

※会費の納入について

日本体育学会会員は 12,000 円（京都滋賀体育学会会費 2,000 円を含む）を日本体育学会事務局へ納入して下さい。自動払込制度を利用されている会員は、7 月上旬に引き落としとなります。新会員の方は自動振込手続きをとって下さい。

京都滋賀体育学会だけに所属する会員は、2,000 円を下記口座に納入して下さい。

郵便振替口座番号：01070-7-23829

他金融機関からの振込の場合

ゆうちょ銀行 一〇九（イデ・トキウ）店 当座 0023829

加入者名：京都滋賀体育学会

日本体育学会及び京都滋賀体育学会入会の手続きについては、事務局（庶務担当理事）までご連絡下さい。また、会員の所属、住所（電話）などに変更が生じた場合にもご連絡をお願い致します。

※日本体育学会年会費の自動引き落としタイミングは、年4回（7 月、11 月、2 月、4 月）です。引き落としができない場合には、退会者扱いとなり、学会大会案内や体育学研究の送付が停止されますのでご注意ください。

論文募集

「京都滋賀体育学研究」に掲載する論文を募集します。投稿規定・執筆要項に従って投稿して下さい。会員皆様の投稿をお待ちしております。

論文投稿先（編集委員会連絡先）

〒 522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学人間文化学部 寄本明研究室

TEL/FAX：0749-28-8259, E mail: yorimoto.a@shc.usp.ac.jp

【別紙1】

平成24年度決算報告

平成24年度 京都滋賀体育学会決算報告

1. 一般会計収支計算書(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

収入	予算額	決算額	予算差	備考
繰越金	522,158	522,158	-	
会費	500,000	609,500	109,500	正会員年会費: 2,000円 × 280人=560,000円 正会員入会金: 500円 × 19人=9,500円 臨時会員会費: 1,000円 × 40人=40,000円
学会本部補助金	61,300	61,300	-	
広告協賛金	100,000	85,000	-15,000	
合計	1,183,458	1,277,958	94,500	(A)
支出	予算額	決算額	予算差	備考
補助金	250,000	200,000	-50,000	学会大会・総会: 100,000円 研究集会: 25,000円 × 4件
学会賞費	80,000	60,000	-20,000	若手研究奨励賞(2件)
編集委員会費	30,000	30,000	-	会議費等
印刷費	350,000	288,146	-61,854	学会誌(第28巻)・郵送料等
会計費	15,000	2,100	-12,900	郵便通信費・振込手数料等
庶務費	60,000	60,000	-	名簿整理・会議費等
60周年事業費	50,000	150,000	100,000	資料作成費・記念事業開催経費等
広報費	100,000	30,000	-70,000	HP管理等
予備費	248,458	-	-248,458	
合計	1,183,458	820,246	-363,212	(B)
次年度繰越金		457,712		(A) - (B)

会計担当 来田宣幸

以上、相違ありません。 監査 木村みさか 長積仁

木村みさか 長積仁

2. 特別基金収支計算書(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

収入	決算額
繰越金	2,194,531
利息	497
合計	2,195,028 (A)
支出	決算額
研究助成(1件)	250,000
振込手数料(1件)	420
合計	250,420 (B)
次年度繰越金	1,944,608 (A) - (B)

会計担当 来田宣幸

以上、相違ありません。 監査 木村みさか 長積仁

木村みさか 長積仁

【別紙2】

平成25年度 京都滋賀体育学会予算
一般会計

収入

費目	予算額
繰越金	457,712
会費	500,000
学会本部補助金	61,300
基金より	350,000
広告協賛金	100,000
合計	1,469,012

参考(H24決算額)

繰越金	522,158
会費	609,500
学会本部補助金	61,300
基金より	
広告協賛金	85,000
合計	1,277,958

支出

費目	予算額
学会事業費	
・補助金	250,000
・学会賞費	80,000
・印刷費	300,000
・60周年事業費	350,000
学会運営費	
・編集委員会費	30,000
・会計費	15,000
・庶務費	60,000
・役員選挙経費	50,000
・広報費	100,000
予備費	234,012
合計	1,469,012

参考(H24決算額)

・補助金	200,000
・学会賞費	60,000
・印刷費	288,146
・60周年事業費	150,000
・編集委員会費	30,000
・会計費	2,100
・庶務費	60,000
・役員選挙経費	
・広報費	30,000
予備費	
合計	820,246